



中国5県休眠預金等活用コンソーシアム

【構成団体】

(公財) とっとり県民活動活性化センター

(公財) ふるさと島根定住財団

NPO法人岡山NPOセンター

NPO法人ひろしまNPOセンター（代表団体）

NPO法人やまぐち県民ネット 21

団体の目的

私達は、ボランティア活動をはじめとする市民が行う自由な社会貢献活動を支援するとともに、多様な主体による協働・連携を推進し、様々な社会課題の解決を図り、持続可能で豊かな市民社会を実現することを目的とする中国地方のNPO支援組織によるコンソーシアムです。

中国5県全域に休眠預金を届け、地域ニーズに沿った案件形成や伴走支援を行い、そして知見やノウハウを共有する包括的な取り組みを通じて目的達成に寄与します。

実績

- | | | |
|----------------|---------------|--------|
| ・休眠預金2019年度通常枠 | 草の根活動支援事業（地域） | 資金分配団体 |
| ・休眠預金コロナ緊急助成 | 資金分配団体 | |
| ・休眠預金2020年度通常枠 | 草の根活動支援事業（地域） | 資金分配団体 |

【中長期アウトカム】

中国地方において地域や分野の垣根なく様々な課題を見落とすことなく、課題解決プロジェクト化することが可能になっている。また、そのプロジェクトを担う地域のNPOの課題解決力や当コンソ構成団体等の支援力も向上し、多様なステークホルダーを巻き込んだ包括的な体制が生まれている。この包括的な取り組みが積み重なることによって、様々な格差が是正され、住み慣れた地域において暮らし続けることができる中国地方が実現されている。

【活動】 包括的取り組み体制の構築

休眠預金の有無に関わらず、実行団体の運営及び、その活動に対する支援（知る力、支援する力、共有する力）を継続し、更にブラッシュアップしていく。包括的取り組み体制の構築によって、NPO等の活動から生じる知見や経験が中国5県全体で共有・蓄積され、それらを中国地方において課題に取り組むNPOへ日々の業務を通じて還元していく。

【資金的支援】
実行団体が本事業で取り組む課題

【実行団体への伴走支援によって取り組む課題】
資金的支援：実行団体に対して直接的な支援

【非資金的支援：組織基盤強化】
資金分配団体が実行団体への伴走
支援によって取り組む課題

【実行団体への伴走支援によって取り組む課題】
資金的支援：実行団体に対して直接的な支援

【非資金的支援：環境整備】
資金分配団体としての活動によっ
て取り組む課題

【資金分配団体としての活動によって取り組む課題】
非資金的支援：実行団体に対して間接的な支援

【包括的な取り組みを阻害する課題＝本事業で解決する課題】

【根本的問題・現状等】

人口減少や少子高齢化、格差などを原因とする多種多様な問題が重なり、住み慣れた地域において暮らし続けることが困難となり、集落や自治体の消滅が現実味を帯びています。暮らし続けられる地域を将来へ届けるためには1つの地域や分野だけを見て取り組むのではなく、暮らしに関する**多種多様な課題**を市民目線から把握し、包括的に取り組み、解決していく必要がありますがその仕組みが十分とは言えません。

コンソーシアムならではの大変だった点

【お断り】

コンソーシアムならではの →コンソーシアムしか分かりません

大変 ≠ 手間がかかる

だった →現在進行形で大変です

- コンソーシアムによる提案が想定されていなかった。（2019年5月の説明会時）
- JANPIAさんと二人三脚で組み立ててきた。
 - 契約、ガバコン、予算、POの人数 etc
- 自分たちが組み立てた仕組みが前例になる恐怖。
- まだ完走した事業がない（精算・監査までいってない）恐怖。

コンソーシアムならではの大変だった点 になりそうだけど積み重ねてきた信頼関係で 何とかあった点

・ガバナンス的な事

- ・事業・評価計画の意思決定
- ・資金計画の意思決定
- ・実施体制の意思決定

当コンソの意思決定機関
である【運営委員会】において
内容の精査・承認
修正の指示も

各構成団体による
承認された計画等の実施
状況の共有

【信頼関係が生きたと感じるポイント】
構成団体は法人格も規模も実施事業も
『異なる』ということを双方向に理解している
(できること、出来ないことがあることを理解している)

【代表団体事務局】
各構成団体やJANPIA等の
意見やルール等を整理して
議案を作成

コンソーシアムならではの大変だった点 になりそうだけど積み重ねてきた信頼関係で 何とかなった点

• 事務局（コミュニケーション）機能的な事

- 代表団体に一任
 - 役割分担の単純化と明確化

- 情報（各種データ）の保管方法
 - 当コンソはTeams

- コミュニケーションツールの統一
 - テキストはTeamsのチャット機能
 - オンラインMTGはZoom

【信頼関係が生きたと感じる
ポイント】

構成団体が代表団体の提案を
受け入れてくれた

【代表団体の役割】

- JANPIAとの窓口
- JANPIAとの契約等に関する事
- コンソ運営に関すること
- 担当県実行団体への伴走支援

【構成団体の役割】

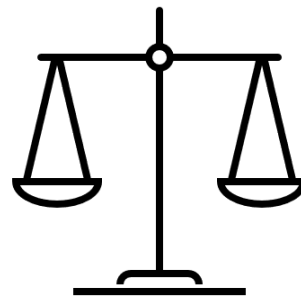
- 担当県実行団体への伴走支援

各エリアの課題のとりまとめ

- 休眠預金活用事業が対象とする3分野「子ども・若者への支援」「日常生活等を営む上で困難を有する者の支援」「地域活性化等の支援」を踏まえ
- 各構成団体がそれぞれの県の課題やNPOの実状を調査（日常業務がそのまま調査）し、取りまとめて運営委員会へ提案
- 運営委員会において各構成団体の提案を評価し、助成方針および各県テーマを承認

【広域性】

- 5県が連携することのメリット（知見や経験の積み上げ、包括的アプローチ 等）



【地域性】

- 地域ニーズ（社会課題や実行団体）に沿った、いまその地域に必要なテーマ

実行団体を採択する際のバランス

いただいた
お題

①企画提案時

シンプルに実行団体（草の根）の助成上限額
2,000万円×実施県数

②資金提供契約時

確定した予算に合わせて助成上限額を決定

例：2020通常

各県2,000万円で提案したが、提案額の減額があったため各県1,700万円

③県ごとに助成方針決定

各県のテーマや状況を踏まえ、採択件数及び1団体当たりの上限額を検討→運営委員会へ提案→承認

例：2019通常

島根、岡山：上限2,000万円/採択1団体

広島：上限1,000万円/採択2団体

※広島案件は2県と比較して到達するアウトカムを低く設定

※1団体採択、2団体採択といった幅を残す

④実行団体内定時

審査結果を踏まえて内定額の確定

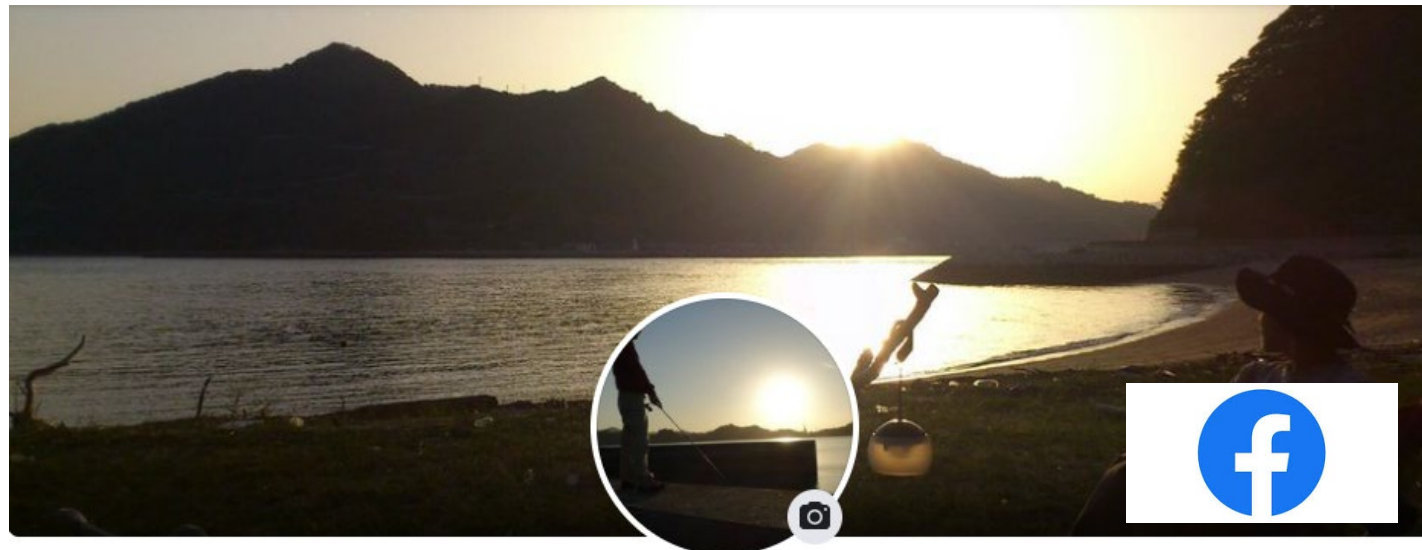
各県ごとに余剰が生じた際は、助成額が余った県が追加公募、助成額の増額、他県への充当を検討
他県への充当を選択した際は運営委員会においてその配分を協議、決定

例：コロナ緊急助成

計画時：各県1,000万円 →総額5,000万円

内定時：鳥取1,150万円、島根980万円、岡山1,140万円、広島1,050万円、山口680万円 →総額5,000万円

ありがとうございました



松村 渉

当コンソでお役に立てることがあれば、お気軽にご連絡ください。

中国5県休眠預金等活用コンソーシアム

NPO法人ひろしまNPOセンター

プロジェクトマネジャー 松村渉（まつむらわたる）

TEL：082-511-3180

E-Mail：matsumura3@npoc.or.jp

Facebook：<https://www.facebook.com/matsumura.npoc>